

北海道SDGs推進懇談会構成員との意見交換における主な意見

区分	意見の概要
「北海道SDGs推進ビジョン(案)」について	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジョンは、これからSDGsに取り組もうという人にはとても役に立つものになると思う。 ・ビジョンの普及によって、道民の方々がSDGsの基本がわかるようになれば、ビジョンを策定した意義は十分にあると思う。さらに、電力消費やフードロスの問題など個別の課題に具体的に取組まれるようになり、全員参加型でSDGsが推進されることが望まれる。 ・ビジョンの推進管理において実施する評価の結果などは、しっかりと公表してほしい。 ・中小企業は行政が示す方向性に沿って行動することが多いため、ビジョンの中小企業に関する部分には、もっと具体的な取組に関する記載や、関連するゴールを盛り込んでほしかった。ビジョンの見直しや指標設定の考え方に関する記載の追加は良かったと思う。 ・懇談会では、大枠の議論に時間を要したため、ビジョンの中身についてあまり議論ができなかった。全体的に時間が足りなかったと感じている。
北海道における今後のSDGsの推進について	<ul style="list-style-type: none"> ・道内においてSDGsに先進的に取り組んでいる企業や団体などを紹介する事例集があると、関心の高い企業等は反応し、取組が広まっていくのではないかと。 ・SDGsの普及という点では教育が重要と感じる。教育の中にSDGsがあると良い。また、教育にSDGsを導入するためには、教師にもSDGsを理解してもらう必要があると思う。 ・ビジョンの地域説明会等における意見交換では、「これからの北海道について」などのテーマで意見交換するとよいのではないかと。 ・今後、道で実施する取組については、他の団体と共催するなどパートナーシップを意識してほしい。また、懇談会でも意見が出ていた国連の9つのメジャーグループ(女性、子ども・若者、先住民、NGO、地方自治体、労働者・労働組合、企業・産業、科学技術コミュニティ、農業者)の参加という視点を意識して実施してほしい。 ・SDGs出前講座については、例えば、中小企業の経営者などは、ビジョンの説明だけでなく、具体的に何が問題で、何に取り組めばよいのかということを知りたいという人もいると思われるため、実践者の活用などについても検討してほしい。 ・今後のSDGsの推進においては、道は、様々な団体と協働で取組を進めていくとよいのではないかと考えている。 ・今後の道の取組として、職員の勉強会のようなものがあってもよいのではないかと。SDGsは一度勉強してすぐに理解することは難しいと思われるので、定期的な機会を設けるとよいのではないかと。